

培われた技術と経験を基に、 顧客ニーズに合った高付加価値品を開発

精密機械板金加工や装置・電源組立を主たる事業としているメーカー。ISOの環境、品質マネジメントシステム認証を取得したのを皮切りに、医療機器製造業許可証、航空宇宙産業品質JISQ9100等を相次いで取得、高度な品質の追求・顧客ニーズに合った精密機械板金加工技術の向上に努めている。様々な大手メーカーと協働しながら、精密機械板金加工技術と制御盤・配線技術をベースとして機械装置の組立を行い、同業他社との差別化や高付加価値化を図っている。

- 所在地 富山県射水市布目沢262番地
- 電話/FAX 0766-53-1146/0766-53-1149
- URL <http://sky-toyama.co.jp/>
- 代表者 代表取締役社長 谷内 昌雄

- 設立 1985年
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 112人



地元大学等との共同研究で技術・製品を開発する開発型企业

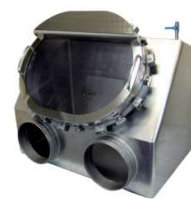
富山大学附属病院の検査・輸血細胞治療部と連携し、血液の解凍時間の大幅短縮をめざすFFP解凍装置を開発するなど、地元医療機関等との連携を通じて医療機器を開発。また、これまで加工困難だった超ジュラルミン(2024-T3)の塑性加工技術を確立し、航空機・エネルギー輸送など軽量かつ強度が必要とされる分野に提案。これらを通じ、経営理念にある「明日の地域社会を担う若い人たちの想像力を豊かにする製品作り」で「地域社会の発展に寄与する企業」を目指している。



超ジュラルミンの塑性加工技術を開発

高い板金加工技術が実現する顧客ニーズに合わせた商品開発

高度な精密板金技術を有し、同社の「継ぎ目の分らない溶接技術」による薄板アルミ溶接やステンレス加工品・機械カバー等は、顧客から高い評価を獲得。様々な分野の製造許可や認証を取得し、業界を限定せず技術力を培ってきたことが、産業機械から医療機器・航空機まで幅広い業界との取引を可能にしている。また、再生医療装置部品やステンレス材(SUS304)加工で製作したグローブボックス(外気を遮断して作業を行う密閉容器)等、顧客ニーズに合わせた商品開発にも取り組んでいる。



ステンレス材加工品「グローブボックス」

一貫生産体制を構築し「得意先に喜ばれる製品づくり」を追求

機械板金加工の分野で、設計から加工・組立までの一貫体制を確立。高性能のレーザータレパン複合機を始めとする最新の生産設備を導入、職人の熟練技術との組合せによるハイブリッド工法で、多品種少量生産及び大量生産に対応して、短納期と品質の安定を実現している。また、QCDによる徹底した生産コスト低減を図ることで、海外生産調達との比較において優位性を確保、高い企画設計力と徹底した品質管理・原価管理・生産管理により生産性を高め、「得意先に喜ばれる製品づくり」を追求している。



板金加工の一貫生産体制を確立